



広がる活動の輪 長洲町を明るくする運動

毎年7月は、「社会を明るくする運動強化月間」として、犯罪のない明るい社会の実現に向けて、全国的にさまざまな運動が行われています。

町でも、更生保護協議会の皆さんと園児たちによる啓発活動や、町を良くするために日頃から活動している団体による「長洲町を明るくする運動発表会」が行われました。ことしで3回目の開催となった発表会では、小中学生や地域、企業などのさまざまな分野から取り組みの発表があり、日頃の活動の様子が紹介されました。

この特集では、発表した8団体を紹介します。

社会を明るくする運動とは
すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築こうとする全国的な運動で、法務省が主唱するものです。ことしで69回を迎えました。



認知症のことを正しく理解する人を一人でも多く増やしたい



▲定期的に関係者によるつどいを行っています

公益社団法人認知症の人と家族の会は、日本で最初に認知症問題を家族の立場から社会問題化した団体で、昭和55年に京都府で結成され、今では全国で11,400人の会員がいます。平成10年には熊本県支部が発足され会員数は221人です。

活動の3本柱として、電話相談、広報活動、つどいを行っています。電話相談は、県と熊本市から委託を受けてコールセンターを運営しています。

広報活動は、認知症本人や家族

の声、医療、介護などの情報が満載です。

つどいでは、医師、介護職などの専門職、行政も一緒に座談会方式で日頃の介護についての悩みなどを話しています。

認知症については、ことしから予防を重視した施策がとられるようになりましたが、すでに認知症になっている人たちの「共生」も同じぐらい大事だと思います。

認知症になっても安心して暮らせる町づくりを目指して頑張っていきたいと思っています。



▲9月は世界アルツハイマー月間です

『認知症になっても安心して暮らせる町づくりを目指して』
公益社団法人 認知症の人と家族の会 熊本県支部

小さくてもきらりと光る子ども会



▲地域の皆さんとそうめん流しの準備

平原子ども会は、1年生から6年生までの合計15人の小さな子ども会で、最近では、子ども会だけでは難しい行事などは地域の人たちにも協力してもらい、世代交流を図っています。

昨年度から地域の畑を借りてサツマイモを育てています。地域の人たちが畑を耕してくれたり、苗の植え方を優しく教えてくれるので、みんなで楽しく取り組んでいます。ことは、落花生も植えました。

夏のお楽しみ行事は、資源ごみ回収の後のそうめん流しです。その

うめん流しに使う竹は、地域の人たちが切り行つて、半分に割り、節を取つて、そうめんを流せるようにしてくださいました。私たちは、老人会や青年部に教えてもらいながら、器と箸を作りました。

10月には、ハロウィンで地域の老人ホームを訪問しました。職員の人たちも仮装して、一緒に盛り上げてくれました。お土産まで用意してくれて、おじいちゃん、おばあちゃんたちが私たち一人一人にお菓子をくれました。

このように、平原子区ではさまざまな行事を通して世代間交流を図っています。



▲ハロウィンではお菓子をもらいました

『平原子ども会の世代交流』

平原子ども会

～子どもが繋ぐ地域～



▲トイレの隅々まできれいに掃除しています

清里小学校には伝統的に受け継がれている行事があります。

J・R長洲駅のボランティア清掃(31年目)、米作り(25年目)、みりの里まつり(21年目)、いちごこの会とトイレ掃除(25年目)、老人会による樹木選定(41年目)。このようにたくさんの行事が長い間受け継がれています。

コミュニティスクールの目標は、人と繋がり、主体的に地域に貢献する子どもの育成、子どもが繋ぐ地域です。学校運営協議会の委

『私たちの元気を地域に届けるためのよい方法』

清里小学校

【学校運営委員会の人からのアドバイス】

- ①他の委員会と協力すること
- ②目標を数値化することで頑張りを確かめられるようにすること
- ③楽しく活用するためにどうしたらいいのか考えること

員の人々と学校の7つある委員会の委員長が、一人一人が生き生きと生活できる学校、学ぶ環境が整った学校にしていきたいために話し合いました。委員の皆さんからいただいたアドバイスを活かし、より良い学校にしていきたいために頑張ろうと思いました。

私たちは、毎日たくさんの方々に世話になっていきます。これからも、挨拶などをして感謝の気持ちを伝えていきたいです。

長洲町のさらなる発展に貢献



▲周辺の道路をボランティア清掃

昭和44年10月に九州不二サッシ(株)として設立され、平成19年に不二ライトメタル(株)に変更し、ことで創立50周年を迎えています。

軽金属資材のサプライヤーとして、アルミ型材、脚立、足場板などのアルミを使ったものづくりをしています。従業員も約1,000人近くおり、新しい軽金属や合金の開発、アルミよりも軽いマグネシウムの開発に取り組んでいます。

経営理念にもある地域社会への貢献ですが、自分たちで長洲町のために何かできることとして会社

周辺のボランティアで清掃活動をしています。会社にとって整理、整頓、清潔は基本中の基本であり、きれいであるということは生産性もよくなるものです。きれいな長洲町、きれいな会社になるように日頃から心がけて取り組んでいます。

新入社員や若い社員を中心に、長洲町を盛り上げようと地域の祭りにも参加しています。

明るく元気に礼儀正しさをモットーに社員一丸となって取り組んでいます。



▲地域の祭りにも積極的に参加しています

『社会貢献活動を通して』

不二ライトメタル株式会社

『年4回実施の防災訓練活動の記録』

赤田区

赤田区は年4回の防災訓練をしています。平成30年2月の第13回火の国防災塾に参加し、その中で一番頭に残っているのが、地震の調査結果で人的被害が少なかった地域は「祭りがある地域・相互の信頼関係がある地域・共助の強い地域」だったそうです。防災意識を高めるには、一般行事はもちろん防災訓練の回数を多くして、声かけを行い参加人員を増やす事だと考えました。



▲心肺蘇生の重要性を学びました



▲DIG(災害図上訓練)の様子

ことし実施した防災訓練では、DIG(災害図上訓練)を行いました。長洲町で集中豪雨が 발생し、避難指示が出ている状況で、どう避難したらいいのか、2班に別れて検討しました。
心肺蘇生とAEDの実技では、心肺蘇生法の重要性やAEDパッドの貼り方などを学びました。
今後の課題は、防災訓練に参加する人は60歳以上の人が多く、若い人の参加が少ないので、若い人の参加をお願いすることです。

地域の皆さんに支えられて

六栄小学校にある樹齢100年以上のけやきにちなんで「けじめ・やる気・きづき」を合言葉に学校生活を頑張っています。
ことは、子どもの読書活動優秀実践校として文部科学省から表彰を受けました。昨年の本の貸出冊数の目標が4万冊でしたが、それを上回る4万5千冊の貸し出しがありました。ことしもしっかり読書に親しむようみんなが一緒に頑張って取り組んでいきたいと思っています。



▲地域の皆さんが菊の鉢植え



▲クラスごとの読書目標冊数を掲示

家庭科の裁縫の授業では、婦人会の人々に来ていただいて、ひとり丁寧教えていただきました。
私たちが地域の人々に大変大事にされ、支えていただいていることがわかりました。これからは、地域のために私たちにできることを考えて、少しでも実行していきたいと思っています。

安全な町づくり

『自転車通学の実施』

長洲中学校PTA

自転車通学検討委員会

長洲中学校では毎年、PTA主催で地区懇談会を開催しています。昨年の地区懇談会の中で、不審者対策として自転車通学を許可してほしいという話が上がり、保護者と地域の人、先生で検討委員会を設置し活動を始めました。
検討委員会では、①安全第一で検討すること②自転車通学の最終責任者は保護者であるということをもとに、根本において最後まで活動しました。

まず、学校周辺の道は狭い道が多いので、実際に見回り、危険箇所や問題箇所を調べ、今回の検討材料としました。

その他に、自転車通学規則や自転車通学シールの作成や通学ルールを守ることを約束させる誓約書を提出させました。



▲自転車通学許可シール



▲保護者による交通指導

3回の検討委員会を経て、モデル地区で実際に自転車通学を開始してみようということになりました。保護者の交通指導の予定を組み、延べ154人が実施し、地域の人や見守り隊の人にもお世話になりました。
誰かが学校や教育委員会にお願いして実現したのではなく、保護者と生徒が主体的に取り組んだことに大きな意味があると思います。これからも交通安全に気をつけて安全なまち長洲になってほしいと思います。

あなたが主役！

『運動を習慣化 心も身体も活き活き』

NPO法人長洲にこにこクラブ

NPO長洲にこにこクラブとは、住民のみなさん誰もが身近に気軽に触れ合い、楽しめるスポーツ環境を提供することにより、
「健康・笑顔・活力あふれるまちづくり」を目指し国の「スポーツ振興基本計画」に基づき誕生した長洲町の総合型地域スポーツクラブです。平成30年度の会員数は331人、指導者数59人、社員数(運営員)16人の合計406人で活動し、年間各種事業参加延べ人数21,830人の参加がありました。



▲熊本ヴォルターズのバスケットボール教室



▲毎年開催のスポーツフェスタは大賑わい

活動内容は、19種目(運動系16種目、文化系3種目)で、町内の公共施設を活用し、出場する大会で全て優勝という種目もあります。
スポーツフェスタやトップアスリート教室などのイベントの他に、着衣水泳の指導や幼児への運動指導、介護予防体操なども実施しています。
スポーツをツールとし、人と人を結び、地域づくりやまちづくりに貢献していきたいと考えています。

『地域とともに心を育む ボランティア活動』

六栄小学校